

平成22年度病害虫発生予報第4号(7月予報)

今月のトピックス

ウスコカクモンハマキ (チャ)

学名 : *Adoxophyes dubia*



雌成虫



雄成虫



幼虫



巻葉内の幼虫

(写真提供: 沖縄県植物防疫協会)

生態と被害

本種は、かつてチャノコカクモンハマキとされていたが、1998年に別種として記載された。沖縄県にはチャノコカクモンハマキは分布せず、本種のみが分布している。成虫は前翅長7～9mm、体翅ともに褐色で前翅には3条の暗褐色帯がある。卵は、長径約0.8mmの扁平な楕円形で、葉裏に卵塊として生み付けられる。成熟した幼虫は体長20mmで体色は緑色、頭部は黄褐色で、巻葉内で蛹化する。

幼虫はふ化後すぐに葉を糸でつづり食害を始める。年間5～6世代を繰り返すと考えられ、3月の新芽展開期に発生が多くなる。27℃以上で发育遅延を起こすため、夏場の発生は少ない。チャ以外ではかんきつ等を食害する。

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>